

# 大宝思考のことば

「大宝思考のことば」とは、意見・理由・比較・順序・類別・観点の変更といった思考を促すための言葉の型です。国語科の学習に限らず、「大宝思考のことば」を活用して、話したり、書いたりする学習活動を取り入れています。そうすることによって、一人で考える際にも、話し合う際にも、思考力を十分に働かせることができるように取り組んでいます。

大宝小学校では、子どもに習得・活用させたい論理的思考力として16観点の力を挙げ、その系統性を右の図のように整理しました。これらの16観点の思考力を働かせた話し方の例を「大宝思考のことば」として示しました。

「大宝思考のことば」の習得・活用を図り、考えを深めることができる「対話的な学び」の実現を目指し、研究を進めています。

力	比べる	並べる	学年
想像する	観点の変更 仮定・条件の変更	推理	高学年
きまりを見つける	定義づけ 類別	変化	中学年
整理する	焦点化 比較	順序	
詳しくする	まとめ		低学年
表現する	例示・具体	質問	
	理由づけ 意志	付け足し 主張	

すべての教室に、右のような「大宝思考のことば」を活用した話し方の例を掲示しています。学年ごとにつけたい力を整理し、一覧表にしました。

話したり、書いたりする際に、この一覧表の話し方を使うことによって、思考力が身に付いていきます。

力	話し方の例
考え	～は、…です。      きっと(多分)～と思います。 もし自分だったら、～。
理由	なぜなら、～からです。 理由は、〇つあります。一つ目は、～。二つ目は、…。
友達の意見を聞いた考え	～さんに賛成(反対)です。 ～さんと似ていて(違って)、…です。
つけ足し	～さんの意見につけ足します。
質問	～さんに質問です。…について、もう少し詳しく教えてください。
比べる	AとBを比べると、～が違います(同じです)。
順序	まず(最初に)、～。次に、…。最後に、〇〇。
焦点化	特に～は、…です。
例え、説明	くわしく言うと、～。      例えば、～。      具体的には、～。
まとめ	つまり、～。      まとめて、～。      このように、～。
仲間分け	AとBは、～という点が似ている(違う)から、同じ(違う)仲間です。
名前づけ	AからCの仲間をまとめると、～という名前になります。
変化	だんだん～変化しています(なっています)。
観点の変更	Aの観点では～ですが、Bの観点から考えると、…になります。
仮定	Aが～だ(でなかった)と仮定すると(しても)、Bは…だと思えます。
条件の変更	～に条件を変更すると、AはBになります。 ～に条件を変更しても、AはAです。
推理	Aが～だから、Bは…になると推理できます。 これまで〇〇は～だから、これから多分…になると推理できます。

# 大宝思考のことはば（中・高学年教室掲示用）

力	話し方の例 <sup>れい</sup>
考え	～は、…です。                      きっと（多分）～と思います。 もし自分だったら、～。
理由	なぜなら、～からです。 理由は、〇つあります。一つ目は、～。二つ目は、…。
ともだち 友達の意見を 聞いた考え	～さんに賛成（反対）です。 ～さんと似ていて（違って）、…です。
つけ足し	～さんの意見につけ足します。
しつもん 質問	～さんに質問です。…について、もう少し詳しく教えてください。
くら 比べる	AとBを比べると、～が違います（同じです）。
じゅんじょ 順序	まず（最初に）、～。次に、…。最後に、〇〇。
しょうてんか 焦点化	とく 特に～は、…です。
たと 例え、説明	くわしく言うと、～。                      例えば、～。                      具体的には、～。
まとめ	つまり、～。                      まとめると、～。                      このように、～。
なかま 仲間分け	AとBは、～という点が似ている（違う）から、同じ（違う）仲間です。
名前づけ	AからCの仲間をまとめると、～という名前になります。
へんか 変化	だんだん～変化しています（なっています）。
観点の変更 <sup>へんこう</sup>	Aの観点では～ですが、Bの観点から考えると、…になります。
かてい 仮定	Aが～だ（でなかった）と仮定すると（しても）、Bは…だと思います。
じょうけん 条件の変更 <sup>へんこう</sup>	～に条件を変更すると、AはBになります。 ～に条件を変更しても、AはAです。
すいり 推理	Aが～だから、Bは…になると推理できます。 これまで〇〇は～だから、これからは多分…になると推理できます。

